

総合科学部 日本語教員養成に関する科目

1. 概要：

総合科学部の専門科目「日本語教員養成に関する科目」として、日本語教授法Ⅰ・Ⅱ、日本語教育方法論Ⅰ・Ⅱ、日本語教育演習（日本語教材研究）の5科目を国際センター教育部門の教員が担当している。日本語教授法Ⅰ・Ⅱ、日本語教育方法論Ⅰ・Ⅱは隔年開講のため、2013年度は以下の3科目が開講された。

2. コーディネーター：橋本 智

3. 実施概要：

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2				日本語教育演習／ 日本語教材研究 (後期)	
3・4		日本語教授法Ⅰ (前期) 日本語教授法Ⅱ (後期)			
5・6					
7・8					
9・10					

日本語教授法Ⅰ 前期

- ・ 担当： 橋本 智
- ・ 受講人数： 16名（含．留学生－中国5名）
- ・ 使用教材： 「日本語教育を学ぶ（第二版）」遠藤織枝 三修社、「日本語の教え方のコツ」清ルミ アルク、「新・はじめての日本語教育2」高見澤孟 アスク、他
- ・ 概要： 日本語を外国語として教える方法について具体的に学んだ。教室内で使う教授法や学習者のニーズを知る方法、コースデザインや実際の授業の流れを学習した。またグループに分かれて模擬の日本語授業の教案を書き、効果的に日本語を学べるように授業が作られているかを検討した。

日本語教授法Ⅱ 後期

- ・ 担当：三隅 友子
- ・ 受講人数：10名（含 留学生－中国3名、スウェーデン1名）
- ・ 使用教材：「外国語学習の科学」白井恭弘著 岩波新書2008
及びプリント
- ・ 概要： 広く言語教育から日本語教育を見ることを行った。最初に留学生の日本語学習調査を行い、さらに言語を教えると学ぶのかかわりについてテキストの理解を深め、最終課題としては自分が自分に対して言語を教えるための最適の方法をレポートとして作成した。自律学習からの教授法を考えた。また同時に国際センターの日本語研修コースの学習者との協働学習の機会も取り入れ、学習者がどのように学んでいくのかの過程を観察しながら学習支援（スピーチ作成等の）を行った。

日本語教育演習／日本語教材演習 後期

- ・ 担当： 橋本 智
- ・ 受講人数：5名（含 留学生－中国2名、スウェーデン1名）
- ・ 使用教材：「みんなの日本語初級Ⅰ本冊」「みんなの日本語初級Ⅰ翻訳・文法解説」スリーエーネットワーク、「Teach Japanese 日本語を教えよう 第2版」河野俊之 凡人社
- ・ 概要： 「みんなの日本語」初級Ⅰを使って、実際に履修学生が授業をする実習形式のクラスとした。このコースのために生徒となる参加者を募集し、4名（中国2名、マレーシア1名、韓国1名）が参加してくれた。コースの前半では基本的な授業の流れを確認し、指導案を作成した。その後、各学生が2回授業を受け持ち、その後振り返りを行った。